

平成24年度 事業計画書

自2012年4月1日 至2013年3月31日

財団法人 札幌市青少年女性活動協会



目 次

I はじめに

II 経営理念

III 基本方針

IV 事業計画の基本方針

1. 自主公益事業の拡充と自主運営施設の積極活用
2. 事業活動の積極的発信
3. 新しい時代のニーズに対応した事業内容の再構築
4. 人材の育成と人的資源の積極活用
5. 収支コストの最適化

V 重点目標および数値目標

VI 各課（各施設）事業実施計画の説明

1. 企画事業課（地域活動等事業）
2. 企画事業課（若者支援施設）
3. こども育成課（児童会館・ミニ児童会館）
4. 野外活動課（野外活動系事業・滝野自然学園）
5. 野外活動課（青少年山の家）
6. 野外活動課（定山溪自然の村）
7. 野外活動課（北方自然教育園）
8. 市民参画課（札幌エルプラザ公共4施設）
9. 市民参画課（市民活動プラザ星園）
10. こども劇場課（やまびこ座・こぐま座）

VII 当協会の改革

平成24年度 事業計画

I はじめに

平成 24 年度は、指定管理者制度のもと、引き続き当協会の目的に沿った上質な事業展開を行いつつ、新たな事業にも積極的にチャレンジすることが求められる。

それと同時に、平成 20 年 12 月から特例民法法人となり、5 年間の移行期間が迫っている今、公益法人移行認定に向けた定款の作成や申請準備はもとより、この移行に伴う公益法人会計基準の変更、ならびに関係規則等の再整備や内部的な各種作業の取扱変更等を早急に進める必要があり、今後の協会の経営的基礎を構築するための様々な変化に、全職員が柔軟に対応することが求められる 1 年となる。

このような状況のもと、経営理念・経営基本方針に基づき、更なるサービスの向上を図るための創造性を発揮するとともに、全職員が公益法人たる当協会の果たすべき役割と使命を自覚し、新たな年度の事業に全力で傾注することが必要である。

II 経営理念

1. 青少年の健全育成と青少年女性の社会参画推進の礎となる。
2. 信頼される公益法人として、地域社会の発展に貢献する。
3. 自ら能力及び専門性を高め、組織の発展と組織力の向上に努める。

III 基本方針

1. グループワーク等を通じて、青少年の健全育成と男女共同参画社会の実現に寄与する。
2. 市民活動の振興及び社会教育の推進に関する事業を通じて、魅力あふれる地域社会の発展に与する。
3. 市民、地域、企業、関係機関とのネットワークをより強化し、目的を実現するための協働を推進する。
4. 様々なニーズに対応した効果的な事業を展開し、専門性を生かした先駆的な事業に積極的かつ直接的に取り組む。
5. 自主事業の拡大を図り、自主財源の確保により経営の自立性を高める。

IV 事業計画の基本方針

1. 自主公益事業の拡充と自主運営施設の積極活用

指定管理業務において提案した業務計画を着実に実行することに加えて、公益財団法人格の取得に向けた取り組みとして、引き続き、自主的な公益事業を事業計画に盛り込み積極的に展開する。また、自主運営施設である滝野自然学園に加えて平成 23 年度に新たに市民活動プラザ星園の事業運営も当協会において開始していることから、各課においてもこれらの施設を積極的に活用した事業計画を策定すること。

2. 事業活動の積極的発信

公益財団法人への移行認定を目指すにあたっては、当協会の行う様々な事業活動をより多くの人々に理解していただけるような外部発信活動が必要となる。

事業参加者や受講者の募集のみならず、その事業活動自体の情報発信や効果・実施状況等をホームページや広報誌を通じて積極的に発信し、当協会の実施事業を積極的にアピールすること。

3. 新しい時代のニーズに対応した事業内容の再構築

社会が急速に変化し多様化する現代にあつて、様々な価値観のもとにあつても必要とされる事業を展開し続けるためには、当協会独自の強みを存分に発揮しながら、それらのニーズも的確に把握していく必要があるが、そのためには、柔軟に挑戦できる環境づくりとこれまでの事業内容を現代社会のニーズに対応させていくことが必要になる。

信頼される公益法人として、今後も引き続き地域社会の発展に貢献できるよう、事業の再評価及び分析を行い、新しい時代のニーズに対応した事業内容へと再構築を行う。

4. 人材の育成と人的資源の積極活用

当協会の事業は、経費に占める人件費の割合が7割以上となっており、人材こそが最も貴重な財産となっている。将来にわたつて、当協会が効果的な事業を展開していくためには、平素の事業活動や職員の育成を通じて未来を担う人材を絶えず育成していくことが重要となり、その人的資源を有効に活用していくことが経営基盤の強化とさらなる発展を目指すための原点となる。

職員研修などを通して職員の資質のさらなる向上を図るとともに、これまでの事業活動を通じて培った知恵・経験・ネットワークなどを最大限に活用した事業計画を策定すること。

5. 収支コストの最適化

指定管理業務における4年間の収益は、ほぼ一定した収益額として契約を済ませていることから、未来に増加が見込まれる人件費やその他施設管理にかかる経費を見据えた効果的な事業計画及び予算の作成を必要とする。

平成23年度における各課決算見込みなどを参考にして、収益予算に見合う経費予算を作成し、指定管理業務の4年間を総合的に考え、指定管理期間全体のコストバランスを意識しながら、3年目にあたる平成24年度予算の作成に取り組むこととする。

V 重点目標および数値目標

課・施設	重点目標	数値目標
企画事業課	公益目的事業の重要性について共通理解を図りながら、当協会の認知度向上のための広報活動を積極的に実施し発信力を強化することに加えて、各分野の人材育成を他のセクションとともに推進する。	〈収入額〉 40,000千円 〈年間事業数〉 55事業以上
若者支援施設 (4館)	職員の社会情勢を加味した専門性を確保するための自己研鑽を推進するとともに、若者支援総合センターと若者活動センター機能の更なる融合を目指した事業展開を行い、内部連携を強化する。	〈登録者数延べ〉 120,000人 〈自立支援新規相談登録数〉 200名以上
こども育成課	人とつながり、心が通い合う児童会館づくりを目指すため	〈児童会館運営協議会〉 25館設置
児童会館 (104館) ミニ児童会館 (70館)	(1) 異年齢による遊びや豊かな体験をとおして子どもの生きる力を育む。 (2) 関係機関と協力し、地域の中の子育ての拠点を目指す。 (3) 子どものためのより良い運営をするためにサービスの向上を図る。	〈利用者総合満足度〉 70%

課・施設	重点目標	数値目標
野外活動課	滝野自然学園の利用促進を図り、青少年山の家や定山溪自然の村との施設連携により、人材育成と野外教育活動の充実を図る。	〈学園利用収入〉 3,000 千円
青少年山の家	他の関係企業などと連携協力を深め、学校教育及び社会教育の課題解決に寄与する事業、宿泊学習や利用団体の活動プログラムに反映されるプログラム開発を含めた形で事業を実施し、その効果を広く周知する。	〈利用人数〉 77,000 人 〈利用満足度〉 80%以上
定山溪 自然の村	豊かな自然環境をもたらす「歴史・文化・産業」等に触れ、人的資源を含めた地域の特性を最大限に生かした事業運営を進める。 (1) 市民の野外活動の支援強化 (2) イベント及びプログラム企画内容の充実 (3) 事業 PR 活動の強化 (4) 自主公益事業の推進	〈ホームページアクセス数〉 40,000 件 〈自主公益事業収益〉 収益額の 24%
北方自然 教育園	ホームページ等による広報宣伝を積極的に進め、冬期間の入場者数の増や市民への周知度を高め、積極的に事業展開を図る。	〈利用者総数〉 20,000 人
市民参画課	人とひととが結びつく、世代を超えた交流と学びあいのステーション	〈年間総利用人数〉 580,000 人 〈市民活動団体新規登録数〉 200 団体 〈キッズページアクセス数〉 20%増
札幌エルプラザ 公共 4 施設	(1) 事業成果の広報強化 (2) まちづくり活動の担い手である市民の活動支援 (3) エコ活動の推進と効率的な経費執行	
市民活動 プラザ星園	まちづくりの拠点・市民活動支援拠点として、地域への情報発信や入居者同士の交流を促進する。 (1) 事業誘致による貸室利用率の向上 (2) 市民活動サポートセンターのサテライト機能の充実 (3) 協会内連携による事業推進	〈貸室稼働率〉 40%
こども劇場課	人形劇等の創造拠点、児童文化の発信基地、ノウハウを生かした地域への積極的な文化支援と併せて継続的な被災地文化支援活動の実施。	〈年間公演数〉 200 ステージ (やまびこ座・ こぐま座共通) 〈観客数〉 3%増
やまびこ座 こぐま座	(1) 市民のための劇場づくり (2) 人材育成と創造型の劇場運営 (3) 最小経費で最大効果を (4) 児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化	
協会全体	公益財団法人への移行申請準備及び申請実施 将来を見据える計画的な予算執行と消費税増税対応策の検討 指定管理者制度に対する準備 (第3期:平成26年度から) 長期的な人材育成 (研修等) の実施	〈寄付金収入〉 1,000 千円

VI 各課(各施設)事業実施計画の説明

- 1 企画事業課 (地域活動等事業)
- 2 企画事業課 (若者支援施設)
- 3 こども育成課 (児童会館・ミニ児童会館)
- 4 野外活動課 (野外活動系事業・滝野自然学園)
- 5 野外活動課 (青少年山の家)
- 6 野外活動課 (定山溪自然の村)
- 7 野外活動課 (北方自然教育園)
- 8 市民参画課 (札幌エルプラザ公共4施設)
- 9 市民参画課 (市民活動プラザ星園)
- 10 こども劇場課 (やまびこ座・こぐま座)

1 企画事業課 (地域活動等事業：自主事業・受託事業)

(寄附行為第25条第1～5・7号に基づく事業)

事業名(内容)	時期・回数
1 企画提案事業 (各種プロポーザル方式事業への積極参加による事業の獲得) 1. 「水道展 2011」: 水道サービス協会 2. 「下水道科学館フェスタ」: 下水道資源公社 (2011年実績)	通年
2 受託型事業 (行政機関、企業等からの受託事業) 1. 「さっぽろ雪まつり(つどーむ)」: 株ノヴェロ 2. 「だい・どん・でん」: 大通まちづくり株 3. 「ミニさっぽろ 2011」: 実行委員会 4. 東アジア青少年国際交流計画事業 (JICE) ほか	通年
3 人材育成事業 1. 活動協会資格認定事業の実施 2. 活動協会グループワーカー養成講座 3. その他各種講座の実施	未定 3回程度
4 活動支援事業 グループ活動による各種相談業務や物品の貸出支援など	通年
5 CSR事業 1. Sapporo Unifes (札幌大学合同祭) の活動支援 2. 被災地支援事業	通年
6 広報事業 1. こども情報紙「あ・そ・ぼ」の発行 2. 動画による事業紹介 3. 職員向け広報(きょうかいナウ、フラッシュ、新聞情報等) 4. 広報資料のデータベース化	年6回 各10万部 年50回程度 年12回及び随時
7 こども基金事業 寄付事業・財団事業・助成事業	通年

2 企画事業課（指定管理事業：若者支援施設4館）

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

札幌若者支援総合センター、若者活動センター（アカシア・豊平・宮の沢）

事業名（内容）	時期・回数
1 自立支援事業	
1. 情報収集・提供（情報コーナー設置・機関紙発行）	通年・年3回
2. 相談窓口の開設、来所相談・電話相談、メール相談	通年
3. 自立支援プログラム・トレーニングプログラム	通年
(1) 初期支援プログラム	毎週1回
・共同炊事・食談会	通年・年48回、随時
・軽運動・体験会・ロビー交流	
(2) 就労支援トレーニングプログラム	通年、毎週1～2回
・グループ活動・ワーカーズファーム・セミナー	毎週1回・随時
・ワーカーズチャレンジ・仕事塾・仕事体験	
・ジョブトレーニング	
4. 自立支援プログラム	毎月1回
(1) 家族会	年1回
(2) 若者自立支援セミナー	
5. 自立支援事業広報	随時
(1) 視察受入と講師派遣	随時
(2) スタッフスキルアップ	通年
(3) 施設活用型訓練	
6. 地域若者サポートステーション事業	常設
(1) 地域若者サポートステーションの受託	通年
(2) 地域若者サポートステーションモデル事業	
・自立支援機関（学校）への訪問	通年
・継続支援（学習支援）事業	
7. 札幌市教育委員会受託事業	通年
・中学卒業者等進路支援事業	
・社会体験機会の獲得事業	
8. さっぽろ若者支援ネットワークの構築事業	通年
子ども、若者支援地域協議会体制整備モデル事業	随時
2 交流促進事業	
1. 情報収集・提供（情報コーナー設置・ホームページ管理）	随時
2. 若者団体ネットワーク構築及びENGINE-LINK構築	通年
3. 若者交流相談・ロビー相談・カフェ	
4. ENGINE-LINK	年2回
情報交換会及び若者サポーターと登録団体との意見交換	

事業名（内容）	時期・回数
3 社会参加促進事業	
1. 情報収集・提供（情報コーナー設置・ホームページ管理）	通年
2. 地域活動ネットワーク構築・地域ネットワーク構築	通年
3. 社会参加相談啓発（ボランティア・地域事業への参加）	通年
4. 社会参加促進講座・地域事業への参加講座	年2回
5. まちづくり人材育成講座	通年
4 社会的自立に関する調査・研究事業	
1. 利用登録時のアンケート実施	通年
2. テーマを決めた調査研究	随時
3. 若者を取り巻く環境の調査	通年
5 さっぽろ若者支援ネットワークの構築事業	年3回
6 その他の事業	
1. 地域若者サポーターの募集と育成	通年
2. ボランティアリーダーの養成	随時
3. 全国若者支援ネットワーク協議会への参加	通年
4. 記念式典の実施	3月
5. 施設の利用促進事業	通年
6. 全国若者支援ネットワーク協議会への参画	随時

3 こども育成課（指定管理業務：児童会館 104 館、受託業務：ミニ児童会館 70 館）

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

事業実施内容等
1 異年齢による遊びや豊かな体験をとおして子どもの生きる力を育む事業
1. 読書活動の推進
2. 図書環境整備
3. 日常活動・体験活動の充実
4. 放課後子どもプラン推進事業の充実
5. 中・高校生の利用の促進
6. 広報活動
2 関係機関と協力し、地域の中の子育ての拠点を目指す事業
1. 関係機関との連携
2. 地域コーディネーター
3. 児童クラブ
4. 障がいのある児童の受け入れ
5. 子育てサロンの充実
3 子どもにとってより良い運営を目指しサービス向上を図る事業
1. 利用者アンケート調査の実施
2. 職員研修

4 主な事業の内容

1. 講習会・発表会

子どもたちの意欲、達成感を引き出す講習会・発表会の実施。

- * 総会、定例会、誕生日会、進級・卒業を祝う会、夕食会、茶話会、育児・栄養講座
手話講座、外語会話、育児相談会、活動記録展など

2. 観賞会

子どもたちの情操を育む事業。

- * 人形劇、演劇鑑賞、読み聞かせ、合唱、音楽演奏、映画・ビデオ上映、演劇など

3. 社会奉仕活動

地域社会の一員としての自覚を持ち、人とのつながりの大切さを学ぶ事業。

- * 全館統一事業、ゴミ拾い（ゴミゼロ）活動、空き缶拾い、清掃活動、環境活動、
施設訪問（高齢者向け施設、子育て支援センター、保育園など）、共同募金、
小さな親切運動、チャリティーバザール、防犯・防火運動など

4. 交流活動

同世代、世代間交流、国際交流等からさまざまな人とかかわることで自分自身を高める。また、地域活動への参画により地域に児童会館を理解していただき、担い手を育成する。

- * 子育てサロン、乳幼児と高齢者の世代間交流、地域交流、国際交流、お泊まり会、
各ブロック合同行事、老人ホーム等施設訪問、高齢者などから芸能等の習い事、
ゲートボール大会、ホームステイ交流会（高齢者・障がい児・外国人）など

5. 季節事業、パーティー

日本の四季の移り変わりや自然の風土を感じる心を育む事業。

- * 歳時的事業（豆まき、クリスマス会など）、正月事業（もちつき、たこ揚げ、かるた）
雪祭り、節分、ひな祭り、子どもの日の行事、父母の日の行事、七夕、盆踊り、
西瓜割り、花火大会、お化け屋敷、きもだめし、町のお祭り、運動会、お月見など

6. 野外・自然体験活動

自然とふれあいさまざまな体験活動のなかで生きる知恵を育む事業。

- * キャンプ事業、畑づくり、炊事遠足、登山、ハイキング、ピクニック・遠足、
サイクリング、つり、オリエンテーリング、アスレチックなど

7. 伝統芸能活動

日本の伝統文化に対する興味・関心を引き出し、より良い文化を受け継いでいく心を育む事業。

- * 伝承あそび（こま、けん玉、お手玉など）、生け花、茶道教室、将棋教室、華道、
書道、詩吟、舞踊、太鼓、郷土芸能など

8. 体力増進・スポーツ

スポーツをとおして健康の増進を図り、人とかかわる上でのルールなどを身につける。

- * 日常あそび（おにごっこ、かけっこ、ボール遊びなど）、遠足事業、外遊び、卓球、
サッカー、ドッジボール、バスケットボール、バレーボール、野球、体操、武道、
トランポリン、バドミントン、一輪車、なわとび、たけうま、ニュースポーツなど

事業実施内容等

9. 子ども運営委員会

子どもたちの自主性や創造性を生かし、主体的な活動の充実を図る事業。

10. 危機管理事業

万が一の災害に備えて、利用者の安全確保のために危機管理の徹底を図る事業。

11. 創作活動

子どもたちの豊かな発想や想像力、創造性を育む事業。

12. 読書活動

本に親しむ環境を整え、情操を育む事業。

13. 学習活動

学校や地域との連携を強化し、学習の補助等を行う事業 *学習レシピの活用

14. リーダー育成事業

リーダー育成を推進し、次世代につなげる育成に取り組む事業。

15. 環境活動

環境保全に対する意識を高め、環境に配慮した事業。

16. 子育てサロン事業

遊びや他者との交流をとおして安心して育児が出来る関係を築く、全市 99 館での乳幼児と保護者に対する子育て支援事業。

(毎週 1 回実施、長期休業日を除く。)

※10 館においては、週 3 回 9 時～12 時の常設

17. 児童会館実習の指導業務

児童会館において教育活動に対する社会貢献の一環として実習生の受入れを行い、児童会館の PR と職員のスキルアップを図る事業。

18. スノー&アイスクャンドル大作戦

市民への PR を図り、地域と新しい広がりのある事業展開を目指し、また市民参加を促すことで、活動協会組織力を対外的にアピールする事業。(全館で実施)

19. 周年行事

地域還元事業として、各会館の周年事業の実施。

10 周年：真栄小ミニ、厚別北小ミニ、星置東小ミニ

20 周年：エルムの森、栄通、上野幌、西岡高台、常盤、平和

30 周年：平岸、西岡、藤野、屯田、西野

40 周年：北郷

20. 全国児童館折り紙展

全国児童館折り紙展の展示会に向けて各会館で活動し、展示会を通して児童会館の活動を広く市民に PR する事業。

※実施時期・回数については、各会館によって多様なため省略

4 野外活動課（地域活動等事業：野外活動系事業、自主運営施設：滝野自然学

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

事業名（内容）	時期・回数
1 財団主催野外事業	
1. たきの森のようちえん	通年（月 2 回：年間 20 回）
2. たきの森のがっこう	年間 9 回（5 月～2 月）
3. 大人のための自然学校	5 月～2 月
4. リトルキャンプ	キャンプ 8 月（2 期）、3 月
5. お父さんと過ごす週末キャンプ	7 月、1 月
6. 親子ファーマーズキャンプ	6 月～9 月：3 回）
7. 被災地支援リフレッシュサマーキャンプ	8 月
8. ボランティアスタッフ育成事業	通年
9. 幼児の森作りプロジェクト	通年
10. その他の指導業務	随時

5 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

事業名（内容）	時期：回数
1 青少年キャンプ事業	
1. 小 1 プロブレム対策事業 なかよしキャンプ	通年
2. 長期自然体験学習モデル事業 トライキャンプ	9 月～10 月
3. 中 1 ギャップ対策事業 小中連携事業	2 月
4. 低学年児童スキー体験 はじめてのスキーキャンプ	1 月
2 生涯学習事業	
1. 日帰り事業 自然観察ハイキング・陶芸・しめ縄作り体験会	通年
2. 専門指導者ワークショップ	時期未定
3. 青少年山の家ボランティアスタッフ活動	通年
4. ボランティアフォローアップ研修	通年
3 活動支援事業	
1. 利用団体支援	通年
2. 出前授業及び拡大出前授業	年間 90 校：年間 5 校
3. 活動プログラムの開発と提供	通年
4 利用促進事業	
1. 各種情報発信	通年

6 野外活動課（指定管理事業：定山溪自然の村）

（寄附行為第 25 条第 1～7 号に基づく事業）

事業名（内容）	時期・回数
1 利用促進事業（新規利用者の獲得）	
1. ファミリーキャンプ 2012〈初心者キャンプ〉	年 6 回
2. 野外料理デイキャンプ	4 月 2 回
3. キャンプガイド&サポート事業	通年
4. やさしいシルバー山歩き〈初心者ハイク〉	5～6 月
5. シルバーくつろぎ倶楽部	4～9 月 3 回
6. 大人のためのプレミアムキャンプ	5 月・10 月 2 回
7. 第 3 土曜日は工芸デイ	通年
2 交流促進事業（施設利用者及び参加者交流向け）	
1. キャンプファイヤー〈相互交流・親睦〉	年 30 回
2. 期間限定特別プログラム〈活動提案・交流〉	通年
3. フルーツ・スイーツ倶楽部〈活動提案・交流〉	9 月 2 回
4. 親子の自然遊び〈子育て支援〉	6 月～1 月 7 回
5. 自然アート事業〈感性・共感〉	5 月・9 月 2 回
3 連携事業（関連団体等との協力体制づくり）	
1. 地域連携事業〈地域協力〉	10 月 3 回
2. 定山溪フットパスデイ〈歴史・文化〉	9 月
3. 企業協賛事業〈事業協力者獲得〉	通年随時
4. 公的施設等連携事業〈公共施設共同〉	通年随時
5. 野外系施設連携事業〈施設間連携〉	通年随時
4 人材育成事業（人材発掘・自主運営働き掛け）	
1. アクティビティボランティア〈人材発掘・活用〉	通年随時
2. 天文ボランティア研究会〈人材発掘・活用〉	通年随時
3. イベントボランティア〈人材発掘・活用〉	通年随時
4. ボランティア自主研修会（スキルアップ）	通年 8 回程度
5. 森もりレンジャー〈人材発掘・活用〉	通年 8 回
5 PR 事業（プログラム紹介・団体利用誘致・資料発行等）	
1. 自然体験プログラムの出前事業〈施設・事業 PR〉	通年随時
2. 団体利用プロモーション〈団体利用誘致〉	通年随時
3. 事業プロモーション（事業説明）	通年随時
4. Nature Village フェスティバル（ハイシーズン開始 PR）	6 月 1 回
6 プログラム開発・研究事業（事業企画・意見収集等）	
1. 調査・研究事業〈意見集約・分析〉	通年随時
2. 広報・情報収集〈情報提供・整理〉	通年随時
3. 施行・提案事業〈企画・調整〉	通年随時
4. 持込事業支援〈会場提供・活動支援〉	通年随時

事業名（内容）	時期・回数
7 ガイドプログラム事業	
1. 森の工作会<自然素材創作>	通年随時
2. ハンゴウ体験会<炊さん体験>	通年随時
3. 森の観察会<自然観察>	通年随時
4. 銀河の会<星空観察会>	通年随時
5. 夜間プログラム<夜間自然体験>	通年随時
6. 団体向けガイド事業<団体活動支援>	通年随時
7. 薪・丸太割り体験会<野外活動体験>	通年随時
8 セルフプログラム事業（施設利用者の自主的活動）	
1. 石窯料理体験会<野外料理・工夫>	通年随時
2. わくわくらリー<村内探索>	通年随時
3. ドラム缶風呂体験<野外体験>	5月～10月随時
4. 遊歩道チャレンジクイズ<導入プログラム>	5月～10月随時
5. アドベンチャーエリアで遊ぼう &ミュージアムエリア<開放型スペース>	通年随時
6. ペイント広場 <端材木材活用>	通年随時
7. アウトドア・クッキング<野外料理体験>	通年随時
8. スノープログラム<冬期活動支援>	通年随時
9. セルフはんごうタイム<自主活動支援>	通年随時

7 野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

事業名（内容）	時期・回数
1 北方自然教育園事業	
1. 農業体験事業体験農場	
2. 教材用生物の提供事業	
3. 自然観察・採集等の学習機会の提供事業	
4. 自然体験学習機会の提供	
5. 自然体験・展示に関する情報収集・提供事業	
6. 市民の自主的な活動及び交流支援事業	通年・随時
7. 自然体験や展示に関する相談事業	
8. 自然観察、飼育栽培に関する研修事業	
9. 地域連携事業 近隣果樹園と果物・野菜などを販売する市場の開催	
10. 物品販売事業 「手作りおもちゃ」や「昆虫飼育体験キット」の販売	

8 市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共4施設）

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

事業名（内容）	時期・回数
1 男女共同参画センター	
1. 子ども・青年への男女共同啓発事業	通年
2. 男性のためのエンパワーメント事業	通年
3. 男女共同ワークショップ事業 出張講座・ファシリテーター養成講座	年2回
4. チャレンジ支援事業	通年
5. 働く女性のためのキャリア支援	通年
6. 子育て支援事業	通年
7. 女性に対する暴力をなくすための事業	通年
8. 男女共同参画情報誌「りぷる」の発行	年3回
9. ホームページ・インターネット活用事業	通年
10. 事業に関する発行物の作成	年1回
11. 女性のための各種相談	通年
12. 相談検討会議・事業検討会議	各年2回
13. 困難な状況にある男女への支援事業	通年
14. 男女共同参画活動支援事業	通年
15. 男性のための悩み相談事業	毎週水曜日
16. ワーキングマタニティスクール	通年年6回
17. ファシリテーター養成講座	通年7月・11月（各3回）
18. 全国女性会館協議会全国大会	10月11・12日
2 市民活動サポートセンター	
1. さっぽろまちづくり総合情報ポータルの運営	通年
2. 市民活動情報誌・メールマガジンの発行	年2回/月2回
3. 掲示・情報提供/アンケート調査	通年/年1回
4. サテライト事業/まちづくり人材育成事業	通年
5. 市民活動相談（相談員研修）	通年
6. ポイント支援講座	年2回程度
7. 組織強化・サポート事業	通年
8. NPO インターンシップ	通年
9. 市民活動きっかけづくり事業	通年
10. サロン事業	年4回程度
11. マッチング事業	通年
12. 情報センターとの連携事業	通年
13. 札幌駅前通地下歩行空間事業 市民活動活性化/まちづくり情報コーナー広報事業	通年/年6回程度
14. 特定非営利活動促進法の改正に伴う業務 法改正に伴う各種対応と市民活動相談事業	通年

事業名（内容）	時期・回数
3 環境プラザ	
1. こどもエコクラブ/クラブ交流会	通年/3回
2. 教育機関への学習支援事業	随時
3. 見学対応事業	通年
4. 展示物学習支援事業	通年
5. 環境教育リーダー	随時
6. 環境保全アドバイザー	随時
7. 講師派遣広報	年1回
8. ESD 促進事業	年4回
エネルギー・食・自然などをテーマにしたイベント企画	
9. 環境活動団体の支援	随時
10. 環境関連施設連携事業	通年
円山動物園、下水道科学館、青少年科学館など	
11. ホームページの活用	通年
12. 情報センターとの連携	通年
13. 各種相談事業	通年
14. 大学等連携事業	通年
北海道大学環境科院との連携事業	
4 情報センター	
1. インフォメーションリテラシー講座	年3回
2. 情報活用 IT 事業	年2回
3. ブックトーク	年3回
4. 専門性アップ事業	年4回
5. 普及啓発広報事業	年1回
情報発信のためのブックレットを作成	
6. ライブラリーサロン	通年
7. 読書会	通年
8. 図書紹介/ 情報誌事業	通年
9. 特別展示事業	通年
10. 図書等貸出/図書管理事業	通年
11. 社会貢献活動推進事業	通年
企業と協働で4分野に関する啓発事業を実施	
5 エルプラザ共通	
賑わい創出事業	
1. 北8条アマとホップのフラワーロード事業	5月
2. スノー・アイスキャンドル大作戦	2月
3. キャンドルナイト事業	6月
4. エルプラまつり	9月

9 市民参画課（自主事業：市民活動プラザ星園）

事業名（内容）	時期・回数
1 共同実施事業	
1. ロビー活用事業	通年/週1回以上
2. 社会的包摂ワンストップ相談支援事業	通年
3. 人材育成事業	2回程度
4. 星園祭り	1回 秋
2 市民活動サポートセンターサテライト事業	
1. サテライト事業/まちづくり人材育成事業	通年
2. NPOインターンシップ	通年
3. サロン事業	通年/年4回以上

10 こども劇場課（指定管理事業：こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま

（寄附行為第25条第1～7号に基づく事業）

事業名（内容）	時期・回数
1 人材育成事業（一般対象）	
1. 東区市民劇団育成事業	6月～10月（全18回）
2. 初心者のための人形劇講座（新たな担い手の育成）	4月～7月（全13回）
3. 経験者のための人形劇講座	5月～10月（全20回）
4. 人形浄瑠璃講習会（伝統文化のまち「さっぽろ」活性化事業）	6月～2月（全5期）
5. 義太夫講習会（伝統文化のまち「さっぽろ」活性化事業）	5月～2月（全3期）
6. 手作り絵本講習会	8月
7. 腹話術初心者入門講座	11月
8. 初心者のための舞台照明講座	通年随時
9. 砂川人形劇創作体験プログラム（指導者派遣事業）	6月～3月
10. 短期特別講習会（共催事業）	随時
11. 劇団育成支援事業（貸室料金の一部負担）	通年
2 人材育成事業（子ども対象）	
1. やまびこ座遊劇舎	5月～12月（全35回）
2. 劇☆やまびこ座 YOUTH	6月～1月（全35回）
3. ざ・にんぎょうじょうるリユースクラス（中高生クラス）	6月～2月（全5期）
4. 義太夫講習会（伝統文化のまち「さっぽろ」活性化事業）	6月～2月（全5期）
5. こぐま座こども人形劇団	5月～3月（全40回）
6. パペットユーススクール	6月～10月（全20回）
7. こども舞台体験プログラム「ふれアート」	9月～12月（全3回）
8. 短期特別講習	随時

事業名（内容）	時期・回数
3 公演事業	
1. やまびこ座プロデュース公演事業	3月
2. プロデュース人形劇公演	全8回
3. 夏休み特別公演	7月・8月
4. 第41回札幌人形劇祭	11月
5. 人形浄瑠璃公演「座・競演 Vol.3」	10月
6. 公演事業（共催・依頼公演）	通年随時
4 地域連携事業	
1. やまびこ座夏祭り	8月
2. 元町北小学校アウトリーチ事業	5月～11月
3. 読み語りの会	随時
4. さっぽろアートステージ（シアターゴラウンド）	11月・12月
5. 阿寒湖共同制作人形劇（アイヌ人形劇の制作協力）	未定
6. 札幌市教育文化会館共同制作人形劇	8月～3月
5 中島児童会館協働事業	
1. あそびの劇場～冬の陣～（中島公園ウォークラリー）	1月
2. 開館記念祭（かもくま祭）	7月
3. 読み語り入門講座（ボランティアの養成）	11月～12月（全8回）
6 その他事業	
1. 継続被災地支援活動 チャリティー公演、岩手県宮古市人形劇応援公演 福島県人形劇応援公演、募金箱設置	通年
2. 人形劇スタンプラリー	通年
3. 事業サポーター制度 さっぽろスマイルキッズ事業	通年
4. こどもの劇場通信	年6回
5. 企画展示	未定
6. 物品販売事業	通年

VII 当協会の改革

当協会では、新公益法人制度の施行（平成20年12月1日）から3年超にわたり基本的な課題について検討を行い、新制度への移行準備を進めてきた。

本年度は、公益認定取得に向けて準備を加速させる。

Sapporo
Youth&women's
Activity
Association.

